

防犯灯LED化事業の 取組みについて

新風会

沢田 広志

問 現在の防犯灯を「LED化」へ切り替えるまで、市の対応と町内会・町内会連合会への周知について。

答 砂川市防犯灯補助規則の設置費補助率を引き上げるため、平成24年4月1日施行で改正し、内容は、LED灯を設置する場合は、工事費の10分の9以内の額を補助し、新設工事の場合は5万円、取替工事の場合は4万円を上限としました。

各町内会等への周知は、平成23年12月22日に町内会連合会役員会でLED化事業の趣旨・内容、今後の予定を、各町内会へは、本年1月24日付で防犯灯維持費補助申請の案内、LED化事業のお知らせ、2月24日には町内会連合会役員会で規則改正の内容等を、4月4日付で各町内会へ規則改正の内容をお知らせしました。

問 取替工事の開始時期について、平成25年度に実施し、単年度で完了出来るよう準備を進めてい

ます。

問 取替工事の方法について、各町内会の同意を得て、市が工事発注から完了まで実施する予定で、LED化実施時期による電気料負担に差が生じないよう、なるべく短期間に実施します。町内会によっては完成時期に若干の差が生じ、電気料負担に差が生じる場合は各町内の均衡を図っていきます。

問 工事の発注方法について、市内全域を複数の区域に分けて入札等により実施したいと考えています。

答 市内全域を複数の区域に分けて入札等により実施したいと考えています。

防犯灯

町内会の電気料金等
維持管理費の軽減へ
LED照明

空き家対策について

市民クラブ

増山 裕司

問 本年2月に大雪により空き家の倒壊が発生し、市として空き家対策について検討していくことになつていましたが、市が把握している危険な空き家の件数と対応について伺います。

答 危険な空き家は4件確認しています。所有者に適正な維持管理と防災・防犯上必要な措置を講ずるよう要請中であります。

問 本年度から創設された「老朽住宅除却費補助金」の活用状況について。

答 11月末現在で6件の申請があり、危険な空き家対策の新たな予防策として寄与しています。

問 ホームページ上の「空き地・空き家情報」の充実について。

答 アパート情報29棟、空き地情報9件を掲載していますが、戸建て情報の登録がありません。

問 「空き家台帳整備事業」を実施しており、中古住宅の所有者に登録を促して情報量の充実を図ります。空き家対策の検討経過とポイ

ントについて。

答 空き家対策検討会を6月以降7回開催し、空き家対策の窓口一本化、空き家の解消及び空き家対策に必要な事項について検討しており、空き家の利活用方法や老朽住宅の除却費助成制度、対象とする空き家とその把握方法、空き家状態の把握、行政代執行の必要性及び緊急時の体制、現行法令と条例制定との整合性、必要性などについて、他の自治体での取組みも参考にしながら検討し、方向性を見出していきます。



高齢者介護の

現状について

市民の声
小黒 弘

問 砂川市の要支援、要介護認定者は10月現在、千5人となりました。いわゆる、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」世帯が多く見られますが、高齢者介護の実態調査について伺います。

答 現在まで実態調査は実施していませんでしたが、現時点で集計したところ、概算集計ですが、要支援1、2が50世帯、要介護1が32世帯、要介護2が16世帯、要介護3が12世帯、要介護4が4世帯、要介護5が6世帯、合計で120世帯となっています。

問 地域包括ケアを進めるためにも現状の把握が必要だと思いますが、その考え方について。

答 高齢者を地域や施設で支えるためにも、きめ細かな実態調査をしていきたい。

メガソーラーの 誘致について

問 昨年よりメガソーラー誘致が積極的に行われてきましたが、そ

の現状と今後の取組みについて。

答 メガソーラー誘致の現状は、7社から問合せがあり、一番熱心だったのがシャープ(株)でした。

同社には8月下旬、北海道電力へ「メガソーラー発電施設の詳細検討申込書」を提出して頂きましたが、その後、業績予想が大幅に下方修正され、新規投資となる事業の凍結、中止など最終的に砂川市への進出計画が無くなりました。

今後の取組みですが、他のメガソーラー企業からの問合せには、建設候補地に道央砂川工業団地を提案したいと考えています。



誘致が待たれる工業団地

広域観光への

取組みについて

新風会
多比良和伸

問 昨今の不安定な社会情勢の中、観光業が低迷しています。観光を含めた交流人口は我が市の産業、税収にとって大変重要です。

近隣市町、または道内観光名所と連携する必要があると思います。その取組みについて伺います。

答 広域観光への取組みとして、近隣5市5町の観光情報が掲載されたパンフレットを、中国語、韓国語、英語、日本語で作成しています。また10市14町でも同様なパンフレットを作成しています。

問 パンフレットが作成されているのはわかりましたが、それで観光客が砂川へ来てくれるとは考えられません。

特に外国人観光客の場合、それぞれの国で旅行を計画する際に情報が届いていなければ砂川が目的地とされることは無いでしょう。

財団法人自治体国際化協会(クレア)によれば、外国人観光客の目当ては、温泉や食事だけではなく、その地域独自の文化や、農産物の

収穫体験といった体験型に大きな可能性があるとされています。

砂川でもその辺で言えば、浴衣や着物、餅つきをはじめ、様々な農作物、果実の収穫体験も出来ま

す。これらをまとめ、クレアを通じて世界へ発信する考えと、今後の砂川市へ観光客を誘致する政策について市長の見解を伺います。

答 正直、砂川だけで観光客を誘致するのは難しいと考えています。今後も近隣市町をはじめ、道内の観光地と協力しながら、受け入れ態勢も含め検討していきます。



広域観光雑誌